

女性職員からのメッセージ

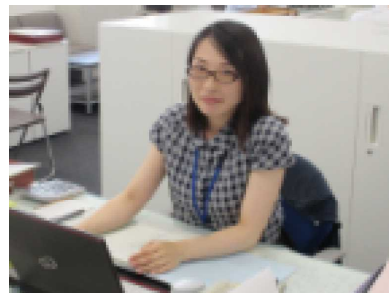
○ 警察庁事務官（平成16年度採用）

私は現在、警察庁事務官として局総務監察・広域調整部警務課に所属しています。担当業務は給与事務で、局職員の給与や賞与がスムーズかつ適切に支給できるよう、日々業務を行っています。

育児休業は制度として3年まで取得することができますが、私は昨年3月から産前産後休暇を取得後、引き続き育児休業を取得し、今年の5月に復職しました。

実質、1年数ヶ月のブランクがあることとなりますが、復職前は仕事に復帰できるのか、また、育児と両立できるのか、いろいろと不安な面もありました。しかし、ワークライフバランスの制度も充実し、自分のライフスタイルにあった制度を利用することができるため、子どもが1歳になったことを機に、日中は子どもを保育所に預け、私自身は早出勤務と休憩時間の短縮を利用し、仕事と家庭の両立に努めています。

以前にも増して時間の制約があり、当然これまでと同じ働き方では難しいため、業務の進め方などいろいろと工夫が必要です。職場の理解と協力のもと、また、育児中の諸先輩方のお知恵を拝借し、これまで培ってきた知識を生かしながら、やりがいのある仕事と家庭生活との両立ができるということは、とても魅力的だと思っています。この職場には個人の特性を生かせる場面がたくさんあるので、あなたの力を生かしてみませんか。



○ 警察庁事務官（平成24年度採用）

私は現在、四国管区警察局総務監察・広域調整部警務課で、勤務時間の管理、旅費業務、物品管理、局内各課の取りまとめなどを行っています。業務の内容は多岐にわたり、幅広い知識が必要です。入庁7年目を迎えましたが、まだまだ知識が足りず、日々勉強です。頼れる上司や同僚がいるので、相談をすれば一緒に悩んだり、解決に向けた的確なアドバイスや指導をしてもらえ、自分が成長できるとても充実した環境にあります。

警察庁事務官は、第一線の現場で活躍することはありません。しかし、私たち警察庁事務官が、自分の仕事を確実に行うことで、警察活動を担う職員が職務に専念できるようになります。私の仕事に関係することで、職員が困ったり不安にならないように、その人の立場に立って毎日仕事をしています。

第一線の警察官のように決して派手ではありませんが、警察組織を支えるやりがいのある仕事だと思います。

警察庁事務官の仕事に興味を持ってくださった皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



○ 警察庁事務官（平成27年度採用）

私は現在、管区局内の職員の給与に関する事務、管区内各県警察本部及び各県情報通信部への給与関係の指導、調査等の業務を行っています。

給与は、職員の生活に直結する部分であり、適切な給与支給を行うことが大切です。そのためにも幅広い知識を習得する必要があり、関係法令を確認するとともに上司に相談をしながら業務を進めています。また管区内の各県担当者から業務における質問や相談を受けることもあります。相手の意向を汲み取った的確な回答ができたときには、自信につながります。

現在入庁4年目で経験が浅いので日々勉強すべきことが多いですが、管区内の所属に対して指示や指導を行う責任ある立場を経験できることにやりがいを感じています。

警察庁事務官は、警察組織を支える上でなくてはならない存在です。組織を支えることは国民の安全な暮らしを支えることに繋がります。ぜひ皆さんの力を、警察活動の一翼を担うことに使ってみませんか。

